

学校心臓検診

本邦の学校心臓検診システムは、世界でも類をみないシステムであり、健康保険制度とは異なり、独自に運営されている。

1. 心臓検診の目的

心臓検診の目的は、心疾患の発見や早期診断をすること、心疾患をもつ児童生徒に適切な治療を受けさせるように指示すること、心疾患児に日常生活の適切な指導を行い児童生徒のQOLを高め、生涯を通じてできるだけ健康な生活を送ることができるように児童生徒を援助すること、心臓突然死を予防することなどである。また心臓検診を通して児童生徒に心疾患などに関する健康教育をすることも重要な目的と考えられる。1

具体的には次のような事項を実施目標とする。

1. 疾患を正しく診断し、それに応じた正しい管理指導区分を定め、適切な管理指導を行って疾病の悪化を防ぎ、さらには突然死を防止する。
2. 心臓検診により医療や経過観察を必要とする症例を発見し、適切に治療や経過観察を受けるよう指導する。また既知の疾患でも主治医や専門医の管理指導を受けていない場合には検診を勧めるように指導する。
3. 正しい指導区分を定め、過度の運動制限や無用な生活制限を解除する。以上の目的、目標を実現するために以下の点に留意する。必要に応じて専門医の意見を聞いたり、紹介したりする。

1次検診ではあくまでもマスキングであることを理解しつつ、

1. 疾患を可能な限りもれなく発見する。
2. 心疾患のあることがすでに分かっている児童生徒には心臓病調査票などを通じて適正に管理されているか確認する。

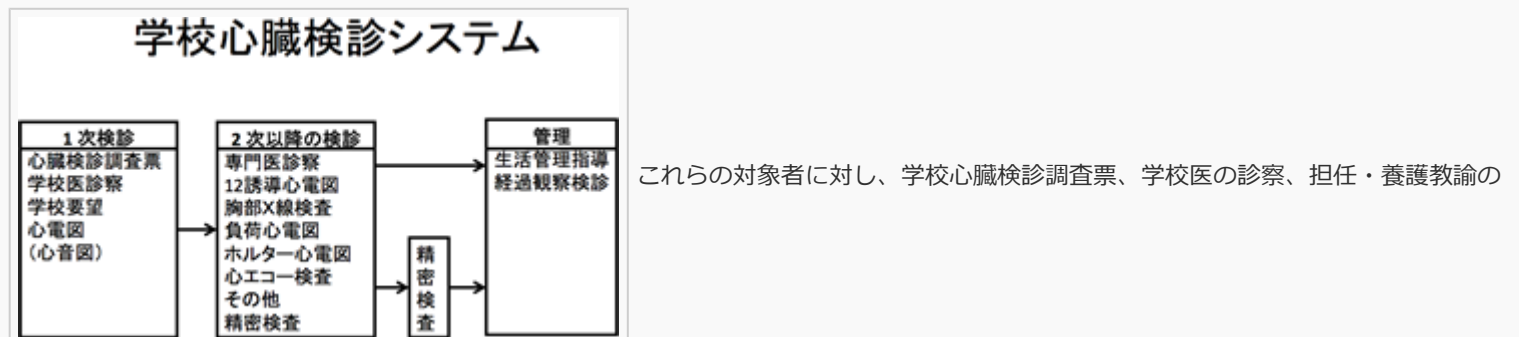
2次以降の検診では

1. 心疾患を正しく診断する。
2. 重症度を決定し適切な指導区分を決める。指導区分を正しく実行させる。
3. 経過観察が必要な場合には必要に応じて経過観察を行う。
4. 突然死またはその可能性のある疾患を早期に発見し、その予防対策を講じる。

ことである。

2. 学校心臓検診システム

昭和48年の学校保健法施行規則の改正により、定期健康診断として実施が義務づけられた。しかしその実施方法についての指示はなく、全国的に統一された検診は行なわれていなかった。平成6年12月に学校保健法施行規則が一部改正され、小学校1年、中学校1年、高等学校の1年生全員に心電図検査が義務づけられた。



日常観察に基づく学校からの要望に加え、心電図検査を実施している。約半数の地域では省略4誘導心電図+心音図を記録しているが、12誘導心電図のみの地域もある。ここまでを1次検診と呼ぶ。これ以後を2次以後の検診と呼び、地域によって2次検診、3次検診と呼ぶこともある。2次以後の検診は、検診施設で行なわれることもあり、地域の医療機関で行なわれることもある。1次検診の所見から抽出された基準をもとに、専門医の診察、12誘導心電図検査、胸部X線撮影、運動負荷心電図、ホルター心電図、心エコー図検査、その他の2次以降の検診が行なわれる。この検診で、これ以上の検査が必要と判断された場合には、専門医療機関で精密検査が行なわれ、これ以上の検査が不要と判断された場合には児童・生徒に対する学校生活管理指導表が提出され、学校生活管理が行なわれる。翌年以後の検査が必要な場合には、翌年も検査を行なうことになる。(図1)

また、平成14年度からは学習指導要領が改訂され、これに伴って新指導要領に沿った新しい学校生活管理指導表（小児循環器学会ホームページ参照）が作成された。

3. 1次検診抽出基準

1次検診から、主として心電図により2次以後の検診に抽出する。これに調査票、学校医の診察所見を加えて抽出する。また、明らかな異常を認められた場合には、直接医療機関を受診して、精査、管理、治療を行なう。現在の暫定的な1次検診抽出基準を表1に、速やかな医療機関を考慮する所見を表2に示す。

表1 1次検診抽出基準（暫定）

表2 速やかな医療機関を考慮する所見（暫定）

4. 学校生活管理指導

その後、各疾患の重症度に応じて、学校生活管理指導表を提出する。先天性心疾患²、器質的心疾患を持たない不整脈³に対するガイドラインはすでに発行されている。また必要に応じて、治療・経過観察を行う⁴。

文献

岩本眞理、住友直方、高橋英子、長嶋正實、茂呂修平、吉永正夫：学校心臓検診の実際-平成24年度改訂-、日本学校保健会、東京、2013.3.11

吉永正夫、泉田直己、住友直方、高橋良明、富田 英、長嶋正實、山内邦昭、新垣義夫、岩本眞理、上野倫彦、牛ノ濱大也、太田邦雄、佐藤誠一、田内宣生、高木純一、立野 滋、檜垣高史、堀米仁志：先天性心疾患の学校生活管理指導指針ガイドライン、日本小児循環器学会雑誌、28;:1-4, 2012

吉永正夫、泉田直己、岩本眞理、牛ノ濱大也、住友直方、田内宣生、高橋良明、富田 英、長嶋正實、堀米仁志、山内邦昭、阿部勝己、新垣義夫、上野倫彦、太田邦雄、佐藤誠一、高木純一、立野 滋、檜垣高史：器質的心疾患を認めない不整脈の学校生活管理指導ガイドライン（2013年改訂）、日本小児循環器学会雑誌29(6): 277-290, 2013

住友直方、岩本眞理、牛ノ濱大也、吉永正夫、泉田直己、立野 滋、堀米仁志、中村好秀、安田東始哲、高橋一浩、安河内聰：小児不整脈の診断・治療ガイドライン、日本小児循環器学会雑誌、26（Supplement）:1-62, 2010